

高知自治体
問題研究所

10月定例研究会

一新分野への転出は建設産業の再生に向かう道なのかー

かつては高い雇用吸収力で高知県の地域経済をけん引してきた建設産業。しかし、公共事業の激減により、倒産企業が相次ぎ従業員も大きく減少してきた。特にそのしわ寄せは、公共事業減少の著しい中小零細建設業者にきており、高知市内の建設業130社は「中小零細企業の会」を結成し、仕事の確保を求めて高知市との話し合いなどぎりぎりの行動を起こしている。

今求められる建設産業の再生、中小建設業の育成にどうこたえるか。

県産振計画の産業成長戦略は、公共事業減に見合った建設業者の再編・縮小が必要とし、農林業など新分野への転出を促すための支援策を打ち出している。はたしてそれは、建設産業を再生に導き、地域の雇用と経済を活性化させる道に向かうのか -



日時 10月9日(金)午後6時30分より

場所 共済会館4階「桃麗」

テーマ 県産振計画研究 その2
「新分野への転出は建設産業の再生に向かう道なのか」

報告者 岡田和人氏(自治体問題研究家)